

《平成27年のラバース方針》

1. チームの取り組みについて

- ① メンバー全員で野球を開催していく
- ② リーダーを中心にメンバー全員で声掛け
- ③ すべての行動においてスピード化
- ④ ケース by ケースの野球を覚える
- ⑤ 今までよりも少しだけ自分に厳しく
- ⑥ コミュニケーションをとる
- ⑦ 反省をしたら改善する

※ メンバー一人一人がチームに貢献するということが具体的な行動として求められる。

2. 試合について

- 1 出席9名で対戦相手の募集を開始する。(9名の見込みでも募集する場合あり)
- 2 10名以上で成績を残し、9名ちょうどの場合は練習試合。8名以下は練習とする。

3. 我々の野球について

- 1 野球が勝ち負けを決めるスポーツである以上、勝ちを目指す。
- 2 ただし、取り組みのプロセスが大事とする。勝った負けたは二の次。全力でプレーする。
- 3 オーダーについても万全に挑めるよう考慮して組んでもらう。

※メンバーみんなが同じベクトルを目指すということ。

4-1 役割分担について

これまで代表がラバース連絡網として、すべての周知事項を発信してくれていたが誰もが発信できるように具体的な実践として、これからの周知事項発信について分担で行ってもらおう。大きく分けて4つの区分

- ① グラウンド確保に関するアナウンス
- ② 出欠確認についてのアナウンス
- ③ 対戦相手確保に関するアナウンス
- ④ あと出席者に限定される活動日に関するアナウンス

例えば：6月分は①が3/15ごろからアナウンスを開始し②③へとつなげる

〈役割分担として〉

(6月) (7月) (8月) (9月) (10月) (11月)

- ① 西川 寺島 高塚 山本 後藤 安倍
- ② 西岡 西谷 中村 竹之内 川村 (西谷)
- ③ 千切 中山 杉岡 印田 山下 (川村)
- ④ 活動日関係(集合時間の周知や当日の天気等)については出席者から選出する。

※厳正なる抽選によって役割分担が決定いたしました。

※お試しのシステムとしてやってみることとする。

※西谷・川村選手に至っては次年度2回当たることはない。

4-2 招待試合について(『役割分担について』の追記)

これまでは代表がラバース連絡網として発信していた、招待試合についても役割分担に組み込むこととする。

基本の行動パターンは以下の2通り。

(1) 試合日まで1か月以上間がある場合

a 招待試合を受けたメンバー(以下、担当者)が、試合月の役割分担②へ出欠確認の依頼をする。

b 連絡を受けた役割分担②は全メンバーにラバースメールを発信。

c 出欠確認後、役割分担②から担当者へ報告

(2)試合日まで1か月ない場合

招待試合を受けた担当者が代表へ報告し、代表からラバースメールを発信。

- ※1 いずれの場合も報告期限を5日以内で設定する。
- ※2 参加者（7名以上）見合いで、助っ人確保の開始（役割分担②の担当）
- ※3 役割分担②や代表が無理と判断した場合は担当者へ断わりの連絡をし、ラバースメールを発信
- ※4 基本の行動パターンは、代表・監督・両キャプテンはからまないが、当然わからない場合は相談・確認を取って行動する。

5. 対戦相手を募集する際の我々の考え

- 1 我々は今まで通り正式な交代で行う野球をする。
ただし、対戦相手に関しては10人以上打ちでも可とする。(サイトにも掲載)
- 2 試合を行う前に事前の話し合いを持ち確認してから開始する。

6. 助っ人について

- 1 保留者を含め9名の参加が危ぶまれる場合要請。
- 2 助っ人ありの場合は、練習試合とする。
- 3 助っ人については、役割分担の項目の②が担当し、ラバースメールを発信する。

7. その他

- 1 人事について
 - (1) 代表、監督、キャプテン二人は変わらず
 - (2) 対戦相手探しのグループリーダーは廃止。(全員で探すこととする)
 - (3) 現場リーダーを設ける。(その日の参加者の中から1~2名を選出する)
- 2 イベント等について
合宿、大会、紅白戦とすべて人数見合いになる。
※大会に関しては、費用もかかるため3月4月5月の参加状況を見て判断する。
- 3 リーグ参加について
 - (1) 今年からランプリーグに参加し活動をする。
 - (2) 事務局要員として
リーダー：安倍 局員：西川、高塚
の3選手でまかなってもらう。
 - (3) 来年以降の事務局員は、今年のリーダーが抜けて、1名を追加する。
※リーグに関しては、今年からなのでまだまだ何もわかりません。協力をお願いします。